

科目名	母性看護学特論 I		分野・必選別・単位数	専門科目 (リプロダクティブヘルス・ライツ看護学)		選択必修	2単位
担当教員	◎教授 梶原祥子						
課程	博士後期	配当年次	1年	配当学期	前期	授業方法	講義
授業の概要	周産期およびリプロダクティブヘルス・ライツにおける女性の生涯にかかわる健康をめぐる様々な現象を明らかにする具体的な研究方法を探究する。また、高度な専門職としての役割を理解し、ケアの質の向上のための方策や課題を追求する。						
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・周産期およびリプロダクティブヘルス・ライツにおける研究プロセスを理解し研究方法の特徴について説明できる。 ・女性のケアの質の向上のための方策や課題について説明できる。 ・自己のキャリアを振り返り高度専門職としての役割について説明できる。 						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	梶原 祥子	教授	科目概説 授業の内容、方法、進め方を確認し、自分の計画を立案できる。			
	2	梶原 祥子	教授	周産期における健康問題について、その解決に向けた研究プロセスを概観し、研究方法の特徴を明らかにできる。			
	3	梶原 祥子	教授	周産期における健康問題について、その解決に向けた研究プロセスを概観し、研究方法の特徴を明らかにできる。			
	4	梶原 祥子	教授	周産期における健康問題について、その解決に向けた研究プロセスを概観し、研究方法の特徴を明らかにできる。			
	5	梶原 祥子	教授	周産期における健康問題について、その解決に向けた研究プロセスを概観し、研究方法の特徴を明らかにできる。			
	6	梶原 祥子	教授	リプロダクティブヘルス・ライツに関する健康問題について、その解決に向けた研究プロセスを概観し、研究方法の特徴を明らかにできる。			
	7	梶原 祥子	教授	リプロダクティブヘルス・ライツに関する健康問題について、その解決に向けた研究プロセスを概観し、研究方法の特徴を明らかにできる。			
	8	梶原 祥子	教授	リプロダクティブヘルス・ライツに関する健康問題について、その解決に向けた研究プロセスを概観し、研究方法の特徴を明らかにできる。			
	9	梶原 祥子	教授	リプロダクティブヘルス・ライツに関する健康問題について、その解決に向けた研究プロセスを概観し、研究方法の特徴を明らかにできる。			
	10	梶原 祥子	教授	リプロダクティブヘルス・ライツに関する健康問題について、その解決に向けた研究プロセスを概観し、研究方法の特徴を明らかにできる。			
	11	梶原 祥子	教授	関心のある現象(女性の健康問題)に関する量的及び質的研究を選択して資料を作成し、プレゼンテーションを行い討議する。			
	12	梶原 祥子	教授	関心のある現象(女性の健康問題)に関する量的及び質的研究を選択して資料を作成し、プレゼンテーションを行い討議する。			
	13	梶原 祥子	教授	関心のある現象(女性の健康問題)に関する量的及び質的研究を選択して資料を作成し、プレゼンテーションを行い討議する。			
	14	梶原 祥子	教授	関心のある現象(女性の健康問題)に関する量的及び質的研究を選択して資料を作成し、プレゼンテーションを行い討議する。			
15	梶原 祥子	教授	まとめ 看護ケア提供者としての卒後の継続教育や高度専門職育成システムについて考察し説明できる。				
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	特に事前準備として、次回の授業内容を予習し、関連文献レビューの内容をまとめ、新しい知見についても調べておく。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、参考書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要である。					
教科書	特に定めない。						
参考書	必要に応じ、適時提示する。						
成績評価の方法および基準	レポート30%、毎回の討議への発言や貢献度30%、プレゼンテーションスキル40%により評価する。						
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP1が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						